

文教・警察常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成26年11月5日(水)～6日(木)

2 調査の概要

11月5日(水)

(1) 沖縄県警察運転免許センター(沖縄県豊見城市)

調査事項：施設の概要と事業概要等について

本県の運転免許センターは、施設の老朽化や耐震性上の問題、モータリゼーションの進行に伴う来庁者の増加による施設の狭隘化や慢性的な駐車場不足といった諸課題を抱えており、併せて、同センターが、防災上重要な施設として位置付けられていること、また、多くの県民の方々が日々利用される施設であることから、早急な対応が求められており、当局においては、現地における施設の建て替え計画が検討されている。

沖縄県警察運転免許センターは、沖縄県警察所管の運転免許試験場で、那覇市に所在していた施設を新築移転し、平成23年1月より現庁舎で業務を行っている。

同センターは、約300台の駐車スペースを有し、各施設は機能ごとに集約され、利用者や職員の導線が交差しない、分かりやすい配置とされており、運転免許試験、免許更新手続のほか、交通安全教育の場としても活用されている。

そこで、本県における今後の取り組みの参考とするため、同センターの施設の概要と事業概要等について調査を行った。



(2) 沖縄県議会(沖縄県那覇市)

調査事項：学力向上に係る取り組みについて

去る8月に公表された「平成26年度全国学力・学習状況調査結果」において、本県は、小学校と中学校における全科目において、平均正答率が全国平均を下回る結果となったことから、当局においては、その課題を明らかにするとともに、学力向上に向けた施策の展開が喫緊の課題となっている。

一方、沖縄県においては、今回の調査結果において、多くの科目において正答率が昨年度を



上回り、全国平均との差が縮まり、大きな改善が図られたところである。

同県では、平成 24 年度全国学力・学習状況調査結果から、全国との差が厳しい状況を鑑みて、平成 24 年度に、同年度から平成 28 年度までを学力向上推進期間と位置づけた「沖縄県学力向上主要施策『夢・にぬふぁ星プランⅢ』」を策定し、「確かな学力の向上」に向けた施策を推進している。

そこで、本県における今後の取り組みの参考とするため、同県における学力向上に係る取り組みについて調査を行った。

11月6日（木）

（3） 沖縄県立総合教育センター（沖縄県沖縄市）

調査事項：施設の概要と事業概要等について

今日、学校現場では、教職員に対して、目まぐるしく変動する社会や子供たちを前に、今日的課題への対応力と指導技術の習得や資質向上が求められている。

こうしたことから、本県では、県総合教育センターにおいて、教育関係職員に対する研修や、教育に関する専門的、技術的事項に係る調査研究などの取り組みを行っている。

沖縄県立総合教育センターでは、教職員を対象とした調査研究事業、研修事業などに加えて、産業教育に係る専門学科の生徒を対象とした高度情報機器や先端技術装置を活用した児童・生徒実習事業を初めとする各種事業に取り組まれている。



また、児童・生徒の確かな学力の育成に向けて、教師の授業力向上等に資するための支援を担うという観点から、センターの職員が直接学校に出向き、教職員や児童・生徒に出前講座を実施するなどの取り組みも行っている。

そこで、本県における今後の取り組みの参考とするため、同センターの施設の概要と事業概要等について調査を行った。

（4） 浦添市立教育研究所（沖縄県浦添市）

調査事項：施設の概要と事業概要等について

浦添市立教育研究所は、教育に関する調査研究、教職員の研修等、教育の改善・充実・発展を推進するために昭和 63 年 4 月に開設された施設であり、本年 4 月より、浦添小学校内に新築された現施設で各種事業を展開している。

同研究所では、学力や心理検査等の実施や検査結



果の活用促進、教職員の資質向上を図るための研修や講座の実施、不登校への対応、教育情報の提供や情報教育の推進教育などの事業を行っているが、中でも、不登校への対応として実施している、適応指導教室「いまあじ」における不登校児童生徒に対する小集団での支援をはじめ、iPadなどのICT機器などを活用した情報教育の推進などの特色ある取り組みを行っている。

そこで、本県における今後の取り組みの参考とするため、同研究所の施設の概要と事業概要等について調査を行った。